



札幌医科大学図書館システム小史

No. 4

Nov. 2012

附属総合情報センター

主任司書 今野 穂

当センターは、本年10月、図書館システムの更新を行いました。新図書館システムの概要は、次ページ以降のとおりですが、ホームページが一新され、自宅や派遣先から学内コンテンツを利用するためのリモート・アクセス環境が大きく改善されました。また、来年早々には、冊子体の蔵書はもとより、本学が購読する電子ブックや電子ジャーナルを一括して検索することができるディスカバリー・サービスの公開を予定しています。

本学図書館システムは、1997年10月の初導入も含め、都合4回の整備を行っていますが、仕様そのものは、一貫した内容となっています。本学図書館は、年間を通し、24時間開館を行い、また、地域医療従事者に対して文献複写などの学術情報提供サービスを実施していることから、本学図書館システムは、図書館職員不在時の図書館利用や遠隔地からの学術情報入手を容易に行えるよう都度検討が行われ、その時代の最先端の情報技術（IT）を採用してきました。

1997年10月の初導入では、本学蔵書情報の電子化と本学に所蔵しない資料の複写依頼のワンストップ化に取り組みました。現在の学部生にとっては信じられないかもしれませんが、1997年以前の蔵書検索は、カセットテープ大のカードに書名や著者名を記載し、ABC順に並べられたカード目録を1枚ずつめくり、探していました（右写真）。カード枚数はゆうに20万枚を超えていました。また、本学で所蔵しない資料は、手書き申込書に記入し、図書館経由で他大学からコピーを郵送により取り寄せていました。ご周知のとおり、システム化により本学に所蔵しない資料の手配は、PubMedなどの文献データベースの検索結果から直接行えるようになりました。文献複写依頼のワンストップ化は、国内初の



試みであり、その業績に対し、2000年5月、10年振りとなる第30回日本医学図書館協会賞を受賞しました。

2回目の整備となる2002年には、本格的な電子ジャーナル整備に備え、文献データベース検索結果と電子ジャーナルを連動させる「リンクリソルバ」と呼ばれるシステムを国内で初めて導入し、同年12月には、アジア初、世界で9番目となる米国国立医学図書館作成の医学文献データベースPubMedとの機能連携を実現しました。また、3回目の整備となる2007年には、自宅や派遣先など学外から文献データベースや電子ジャーナルを利用する際のアクセシビリティの向上を目的に、「プロキシ（代理）サーバ」の整備をはかりました。

本学図書館システムが提供するこれらの機能は、今日、利用者にとっては、当然の機能として活用されていますが、そのこと自体、本学図書館システムが目的とする究極の仕様と考えています。職員不在時に図書館を利用したり、遠隔地から学術情報入手する際に、手順を確認する必要がなく、直感的に操作できるシステムを今後も模索していきたいと考えています。当センター職員一同、ご利用されるみなさまのご意見、ご感想を心よりお待ちしております。

当センター・ホームページがリニューアルされました！

11月1日、当センター・ホームページがリニューアルされました。新しいホームページは、本学スクールカラーの“えんじ色”と白地のコントラストで明るい色調となっています。また、機能的には、オープンソースのブログソフトウェア「WordPress」を用い、従来のRSS（アールエスエス、RDF Site Summary）によるYahooや日経BPネットのニュース表示に加え、次の新機能を提供しています。

- ① 当センター新着情報のRSSによる配信のほか、ツイッターにより短報を発信。
- ② 学内限定記事の閲覧や施設予約の認証を後述のシングル・サインオンの国際規格「Shibboleth（シボレス）」に変更しました。この変更により、文献データベースや電子ジャーナル利用のリモート・アクセスも含め、一度の認証で当センター全てのサービスの利用が可能となります。
- ③ トップページから直接、学内蔵書や電子ジャーナル・タイトルの検索が可能となりました。また、今後の改修では、電子ブックや学術文献の検索にも対応する予定です。

なお、当センターのツイッター・アカウントは、「scc_sapmed」です。ツイッターをご利用のみなさまは、フォローと併せ、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。



図. リニューアルされたホームページ

電子ブック 11,500 タイトルが利用できます

昨今、iPadに加え、koboやkindleなどのリーダーにより注目がされている電子ブックですが、当センターでは、10月より約500の出版社の電子ブックを提供するebrary（イーブラリー）社の医療系コレクション 11,483 タイトルの提供を開始しましたので、ご活用ください。ebraryは、Webブラウザによる都度の閲覧はもとより、無料の電子書籍管理ソフト「Adobe Digital Editions」にダウンロードの上、利用することができます。

なお、操作方法は、オンライン・マニュアルをご参照ください。

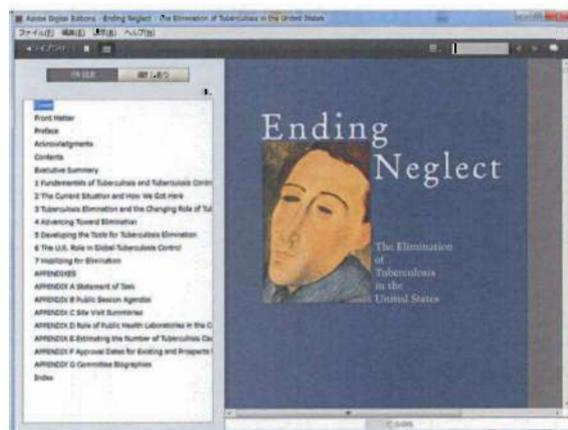


図. Adobe Digital Editionsによる電子ブックの閲覧

あなたは、どこからアクセスしますか？

— 簡単、かつ柔軟な利用が可能な新リモート・アクセス・サービス —

当センターでは、自宅や派遣先から文献データベースの検索や電子ジャーナルを閲覧するための方法として、Web プロキシによるリモート・アクセス・サービスを提供してきましたが、本年 11 月 1 日より次のとおりシングル・サインオンの国際規格「Shibboleth (シボレス)」に準拠した新リモート・アクセス・サービスを開始しましたので、ご活用ください。

【 利用条件 】

本学所属の教職員、学生で、本学電子メール (SAINS) アカウントをお持ちの方であれば、誰でも利用できます。利用にあたり、あらためて申請を行う必要はありません。

【 利用方法 】

- ① リモート・アクセス・サービスへの接続方法は、下記表のとおりです。新システムでは、従来の Web プロキシ・サービスとは異なり、ブラウザへの事前設定や使用しているネットワークによる制約がありません。
- ② 新システム接続の際、右図の認証画面が表示されます。本学電子メール・アカウント (お名前@sapmed.ac.jp のお名前の部分) とパスワードを入力してください。
- ③ 認証完了後、目的のコンテンツのページに移動します。
- ④ 当センター・ホームページの学内限定記事の閲覧も含め、アカウントとパスワードの入力は、最初の 1 回のみです。また、リモート・アクセスの終了は、ブラウザを閉じるだけです。



図. 新リモート・アクセス・サービス認証画面

表. 新リモート・アクセス・サービス接続方法

利用開始ページ	利用可能コンテンツ	操 作 手 順
Remote-access (当センター HP トップ)	全てのコンテンツ	HP トップ右上 → Remote-access → 認証画面 → サービス・メニュー → コンテンツ選択 (例、医中誌 Web など) → 当該誌 Web サイト
電子ジャーナル検索 (当センター HP トップ)	電子ジャーナル (誌名単位の利用)	HP トップ → 電子ジャーナル検索 (SFX AtoZ) → 誌名検索 → 検索結果誌名の選択 → 認証画面 → 当該誌 Web サイト
文献検索 PubMed/SFX (当センター HP トップ)	電子ジャーナル (記事単位の利用)	HP トップ → 図書館サービス → 文献検索 PubMed/SFX → 検索 → 文献内 PIRKA アイコン → リンク・メニュー「フルテキスト」 → 認証画面 → 当該論文の表示
各出版社サイト*	電子ジャーナル (当該出版社発行誌)	(例、Elsevier 社) Elsevier ScienceDirect → Login (Institution Login) → your institution's location で「Japanese ... (Gakunin)」 → 機関一覧で「本学」 → 認証画面 → 利用開始

※ 当該サービスは、Shibboleth 準拠の出版社に限られます。国外出版社の多くはご利用になれますが、医中誌 Web、Medical Online は、現在、Shibboleth 非対応のためご利用になれませんのでご注意ください。

次世代 OPAC「ディスカバリー・サービス」を開発中！

今日の図書館は、従来からの冊子体を中心とした図書館機能に加え、電子ブックや電子ジャーナルなどの提供といった電子図書館的機能を備えていることから、“ハイブリッド・ライブラリー (Hybrid Library)” と表現されることがあります。しかしながら、他面において図書館システムについて言えば、ハイブリッド時代に相応しく、多様化する学術コンテンツを統合的に管理し、効果的に提供できているとは必ずしも言えない現状にあります。このことは本学図書館システムに限ったことではなく、世界的にも、冊子体の所蔵は OPAC (蔵書検索システム) で検索し、電子ブックや電子ジャーナルは、別のシステムで検索しなければならないのが一般的でした。

ディスカバリー・サービスは、種類の異なる学術コンテンツの情報を1つのサーバーに集め、単一の検索ボックスから検索できるようにしたサービスで、次世代 OPAC の1つとされています。図書、雑誌、電子ブック、電子ジャーナルを同じ蔵書として検索できることはもとより、PubMed や雑誌記事索引をはじめとする文献データベースの検索や検索結果に対する関連文献情報の提供、電子ジャーナル論文や文献複写申込みへのリンク、EndNote などの文献管理ソフトへの検索結果出力やシステム内に設けられた利用者個人のフォルダへの検索結果の保存など様々な機能を利用することができます。

当センターでは、現在、来年2月の公開を目標にディスカバリー・サービスの整備を進めています (右上の図参照)。公開にあたりましては、あらためてご案内させていただきますが、次世代 OPAC でありますディスカバリー・サービスを是非ともご期待ください。

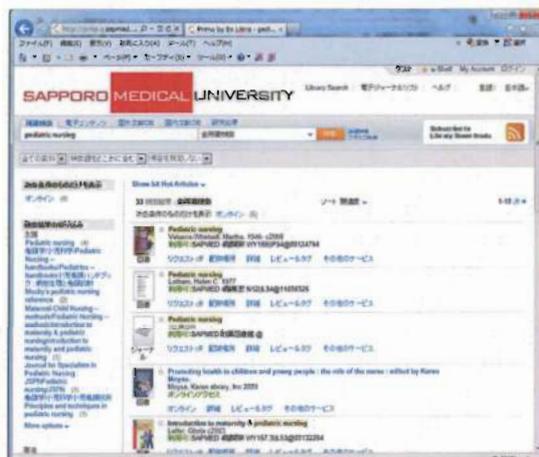


図. 開発中のディカバリー・サービス・システム

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	担当係
図書館の利用に関すること	2424	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	2417	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	2416	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	2423	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	2416	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メール・アドレス、LAN への機器接続に関する	2239	icccj@sapmed.ac.jp	情報システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	libserv@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp